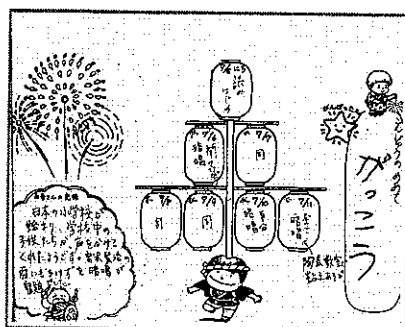


ニューヨーク補習授業校

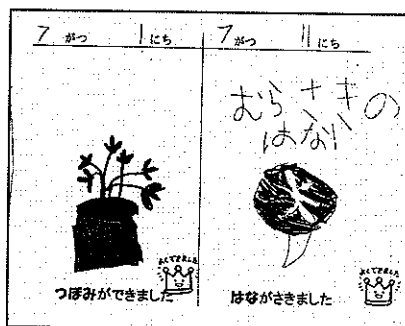
WT・A校夏休み特集号

2009年9月12日発行
914-636-3770
56 Harrison Street 204
New Rochelle, NY 10801

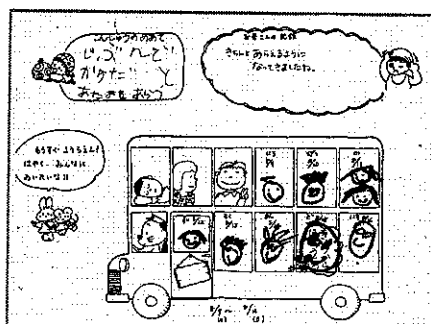
平成二十一年(二〇〇九)年夏。キャンプ、家族旅行、帰国、体験学習、プレイデイト……。大切に、かけがえない思い出がぎゅっしりつまったこの夏。夏休み中の日記や作文・自由研究などから、夏休みの様子を つづったWT校、A校の子どものすばらしい作品を紹介いたします。自分の思い出や貴重な体験と重ね合わせながら、楽しかった夏休みを振り返ってみましょう。



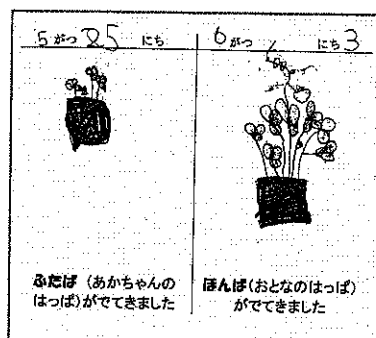
「にんしゅうのめあて」
幼児部1組 ベイラー デニス



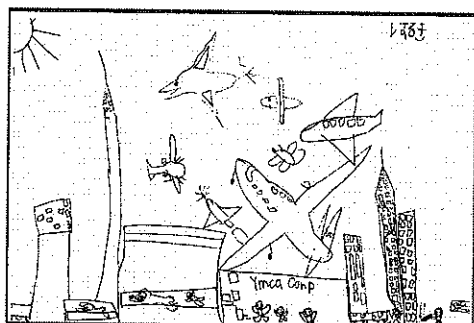
「あさがのおの」
幼児部1組 中村 真里菜



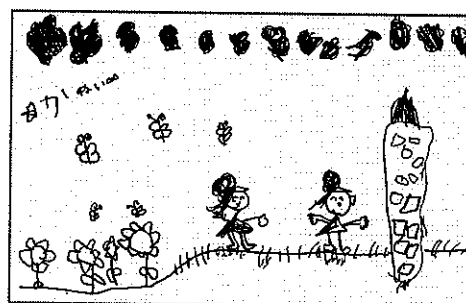
「にんしゅうのめあて」
幼児部2組 西澤 起



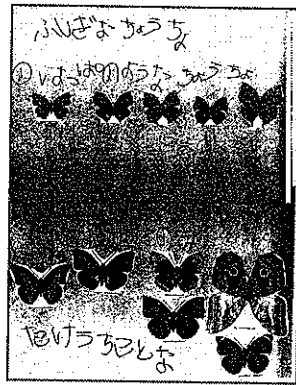
「あさがのおの」
幼児部2組 テイラー えりさ



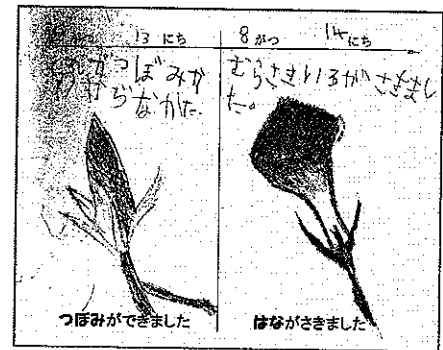
「日本にもキャンプもいった」
幼児部3組 若原 晴輝



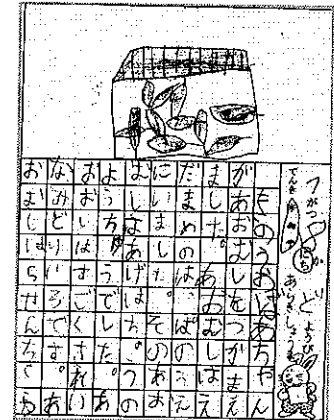
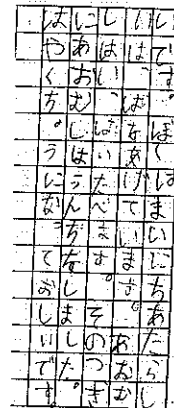
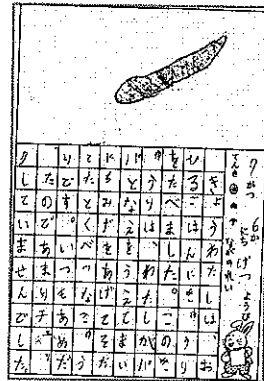
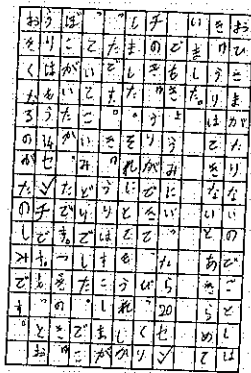
「キャンプであいさつをした」
幼児部3組 宮崎 嘉縫



「ふしぎなちょうちよ」
幼児部4組 竹内 琴菜

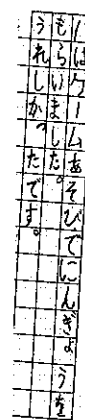
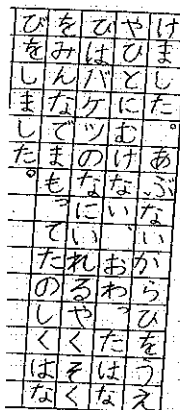


「あさがのおのと」
幼児部4組 溝畑 理沙



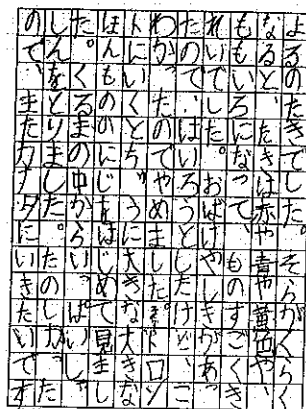
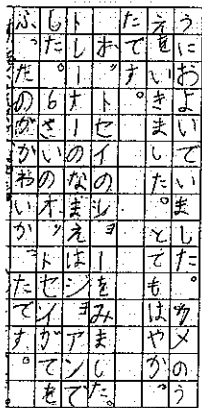
初等部1年1組 長野 玲

初等部1年1組 荒木 翔満



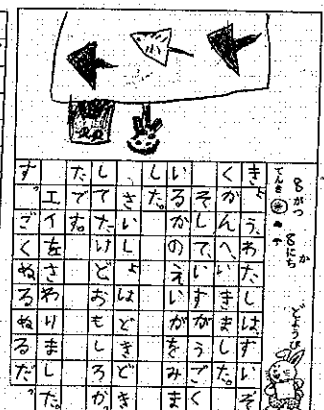
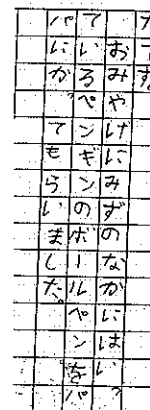
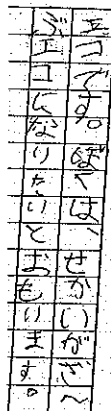
初等部1年2組 甘利 稜馬

初等部1年2組 佐野 百美



初等部1年3組 豎 亜季子

初等部1年3組 ビエム アディア奈月



初等部1年4組 植田 舜

初等部1年4組 松村 直佳

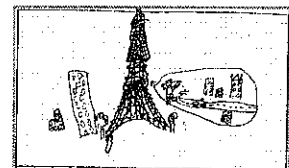
「すく高いね。」
ぼくは夏休みに東京タワーを見に行きました。てんぼう台まで上ってみたら、こわかったです。なぜかというと、今だにおっこちそうだからです。ぼくはもつと上に上がりました。人はまめぐらい小さくて、車がおもちやぐらい小さく見えました。ぼくはきよ人になった気もちでした。だけど下に下りたら、元通りに、ちんだ気がしました。



ぼくはかぞくとおばあちゃんとワシントンへいきました。車でいったので六時間ぐらいかかりました。ホテルについたらぼくは一ばんにベットでごろごろしました。しばらくしてばんごはんを食べました。スベインりよりでした。ぼくは一ばんおいしいと思ったのはいせえびでした。すごいおいしくて、にくのあじがしました。つぎの日さいしよにアーリントンぼくへいきました。せんそうでなくなった人がたくさんまいそうされていました。つぎにリンカーンメモリアルというところへいきました。リンカーンの大きなどうぞうがありました。そのあとユースキャピトルを見にいきました。さいごにホワイトハウスへいきました。すくきれいでした。オバマ大とうりようにあえなくてさんねんでした。つぎの日かえってきました。りよこうでいちばんのしかったのはホワイトハウスでした。い

初等部二年一組 三宅 凱翔

ぼくは夏休みに東京タワーを見に行きました。てんぼう台まで上ってみたら、こわかったです。なぜかというと、今だにおっこちそうだからです。ぼくはもつと上に上がりました。人はまめぐらい小さくて、車がおもちやぐらい小さく見えました。ぼくはきよ人になった気もちでした。だけど下に下りたら、元通りに、ちんだ気がしました。



初等部二年一組 内海 恵人

初等部二年二組 榎本 彩七

きのう、かぞくでブルーベリーがりに行きました。ブルーベリーがりに行くには一時間ぐらいかかりました。

ついでから、トラックにのって畑まで行きました。

ブルーベリーは下のほうになっているのほうがおいしいそうです。

畑で食べるのはただで、もってか

えるときは、とった分だけ、お金をはらいました。

大きなほこに、たくさんもってかえりました。

いえにかえてブルーベリージャムをつくりました。

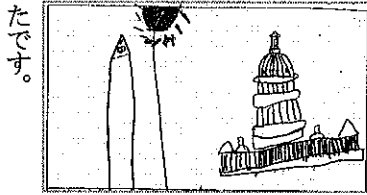
楽しかったです。



初等部二年二組 砂原 智弘

ぼくは、日本からあそびにきているおばあちゃんとおじいちゃんといっしょにワシントンDCに行きました。

ぼくたちは、国会きじどうに行きました。



つぎの朝、ワシントンモニュメントにのぼりました。そこからはホワイトハウスや国会きじどうがよく見えました。ぼくは、ワシントンDCに行けてうれしかったです。

「夏休みの思い出」

初等部二年三組 辻村 健太

ぼくは、今年五年もまわってやと二メートル二十センチをこしたので大きいほうの、ゴーカートにのれました。

さいしよは、二しゆうだとおもったらどんな人が入ってきて九しゆうにもなりました。

けれどまだ一人では、のれなかったのでおとうさんとのりました。

早く一人でのれたらいいなと思いました。

「だんご虫」

初等部二年三組 田村 多真美

だんご虫は、こん虫です。

大きさは、石ころぐらいです。

だんご虫は、ワラジムシに、にています。

色は、くろや、グレーです。

だんご虫がまると、石ころに、見えます。

さわると、かたいです。

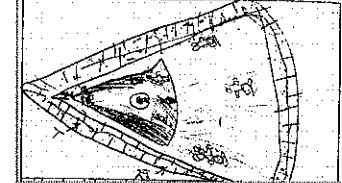
においは、あまりないです。

だんご虫は、おとをたてません。

初等部二年四組 赤間 俊紀

今日、おとうさんとおにちゃんと、ぼくの三人でヤンキーズスタジアムにやきゅうのしあいを見に行きました。

今日のしあいは、ヤンキーズたいマリナーズです。でも少し雨がふっていたので、しあいがはじまるのが少しおくれました。



やつとしあいがはじまって、さいしよはマリナーズがホームランをうちました。ヤンキーズは一

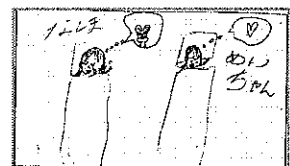
たい0でまけていました。つぎにヤンキーズが二ランホームランをうったので、ぎやくてんしました。ぼくとおにちゃんはいっしょによろこびました。

しあいは、八―五でヤンキーズがかったので、とてもうれしかったです。

初等部二年四組

村田 南帆

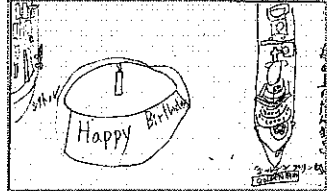
きのう、わたしの友だち、めいちゃんの家でおとまりをしました。夜、ねる時ねようとしたら、たのしすぎてねるのが十二時十分になってしまいました。ねれなくてカメラでビデオをとってしまいました。あと、まちがいさがしもして、すぐむすかしかったです。つぎ、ほんとうにねようとしたらすぐねてしまいました。



「アラスカ・クルーズ 船の上のたん生日」

初等部三年一組 高以良 光祐

今日は、私のたん生日だ。そう、一年間の中で、さい高な一日である。その中でも今年はとくべつだ。なんと、船それも、こうかきやく船の上で、たん生日パーティーを開くのだ。二〇〇九年七月二十五日正午すぎ、船にのる手つづきをおえた私は、うれしくてもうたまらなかった。



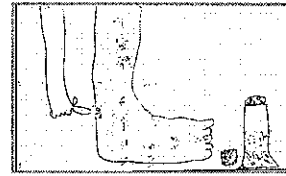
この船、ゴールデンプリンセス号のとなりにあつた船、アムステルダム号はこの船とくらべ物にならないほど、小さい。いよいよ私は船にのつた。気がついたらもう船は動いていた。シアトルの町が遠くに見えた。そして、さいごはきえてしまった。そして、空がとてもくらくなった。その夜、レストランでの夕食のさい後に、私をうれしくした物があつた。そう、ケーキだ。ろうそくもあつた。ウェイターがたん生日の歌をうたってくれた。まわりの人がはく手してくれたので、とてもうれしかった。チョコレートケーキはとてもおいしかった。さい高のたん生日だった。

「しおっておもしろい」

初等部三年一組 榎本 拓真

今日ぼくは、おじいちゃんに教わって、くつずれに
しおをつけました。味しおだったけど、しみることは
しました。

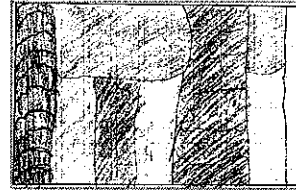
話によると、昔はしおは、か
にさされや、きずぐすりや、は
みがきこに使ったと聞きました。
もつと、治りを早くするに
は、そこをかいてから、しおを
つけると、よけいにいたくなり、
十秒、二十秒、三十秒ぐらい、
いたいといっていました。



ぼくは、しおは、昔の人にとって、手ぬぐいのよう
に、大切な物なんだなあと思いました。なぜかとい
うと、いたいけど、とても、今の薬よりきくからです。

「ナイアガラたたき」

初等部三年二組 前田 未来



八月六、七、八日に、アメリカとカナダのさかい目
にあるナイアガラたたきを見に
行きました。車で七時間ぐらいの
ところですよ。ナイアガラたたき
を見てきた時、水しぶきが見えま
した。ホテルにつき、へやに行く
と、みどりのふとんカバーでした。
ねここちもよく、ぐつすりねむれ
ました。

次の日、「きりのおとめ号」に乗りに行きました。水
しぶきが思いつきかかると思ったら、そんなに
かかりませんでした。その日はよく歩き、足がだるくな
りました。夜のときは、ライトアップされていました。
水色や赤、黄色など、いろんなしゅるいの色でてら
れていました。花火も上がりました。ものすごい音で

すが、とてもきれいでした。

さい終日、もう一度、たたきを見に行きました。いつ
もより、水しぶきがすごかったです。

次の日から雨だったので、一番いい時に行けて、と
てもうれしかったです。

「キャンプでたくさん遊んだよ。」

初等部三年二組 宮本 明日香

今日、YMCAのとまりのキャンプから帰ってきた
した。YMCAのキャンプは、はじめてだったので、
さいしよはドキドキしていたけれど行ってみたら楽し
かったので帰ってくるときに、

「もつとキャンプにいたかったな。」
と思いました。



わたしが行ったキャンプは、
一週間キャンプです。でも帰っ
てくるときは、
「二週間か四週間キャンプに
すればよかった。」
と思いました。

一週間だけだったけど、いろ
いろなことをしました。池でか
えるをつかまえたり、カレーを
作ったり、マシユマロをやいたりしました。一番おも
しろかったのは、池でかえるをつかまえたときです。
かえるをつかまえることはできなかったけれど、タカ
ブーというリーダーがいて、その日にかえるのついた
服を着いていたので、みんなでタカブーをおいかけて
遊んだところがおもしろかったです。こんどキャンプ
に行ったらときは、本物のかえるをつかまえたいです。
来年は、二週間キャンプに行きたいです。

「ホエール ウォチング」

初等部三年三組 白石 梨々花

今日、わたしは、くじらを見に行きました。
まず、車でモントークまで行きました。
それから、船にのりました。

船にのってからせきをとりました。二時間たつてか
らくじらが見えるところにきました。

何十分したら、おじさんが、

「くじらが見えるよ！とけいで見ると一時ぐらいの所
にいますよ。」



わたしのお父さんは、くじらをすぐ見
つけました。わたしは、船がくじら
の近くに行っているさいちゅうに
見つけました。そこには、くじらが
五頭いました。くじらはしっぽをみ
せたりしおをふいたり、いろいろな
ことをしていました。わたしはしっ
ぽを見るのが好きでした。しっぽを
見たらわたしは、
「おー。すーく大きい！」

といいました。くじらがしおをふくのを見るのもすき
でした。

また、船が動きました。少し立ったら止まりました。
前と同じおじさんがまた、

「くじらだよ。」

といいました。

こんかいは、何頭いたのかわかりませんでした。

その後、何回も、ちがうくじらを見ました。全ぶ
ちがうことをしていたので、おもしろかったです。

全ぶで、十七頭くじらを見ました。

全ぶくじらを見終わった後、またモントークへ帰
りました。

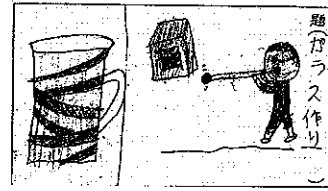
くじらを見るのは、とっても楽しかったです。

「ガラス作り」

初等部三年三組 杉原 俊介

きのうから、おじいちゃん、おばあちゃん、いどこではこねに旅行にきています。今日はクラフトハウスに行つてガラス作りにしようせんしました。

さい初に、形と色ともようをえらびます。ぼくは青と緑のねじりのマグカップにしました。作る時はまず



青と緑のつぶをとけたガラスの上にかけました。その後、ガラスの先に細長い鉄のぼうをつけて、反対がわから強くいきをふきこみました。そうしたらガラスが少しふくらみました。もう一度火でねつしてまたいきをふきこむと、すごくふくらみました。その後ゴロゴロころがして形を作りまし

た。もち手のないコップになつて、さいごにもち手を作つてくつつけました。これで、できあがりです。出来上がったコップは後から送られて来ました。もらった時はすごくうれしかったです。

わたしはケベックに行きました。どうやって行つたかと言うと、家からボストンへ、ボストンからポートランドへ、ポートランドから、船に六時間乗つて、ヤーマスに行つてヤーマスから、プリンスエドワードアイランドに行つて、プリンスエドワードアイランドからケベック、と行きました。

ケベックはほとんどの人がフランス人でした。町は、今まで見たことのないけしきで、建物が古くて、おしやれでとても、きれいでした。坂が多くて足がちよつといたくなつたけれど、がんばつて歩きました。わたしは、かん光客が多い所だと思ひました。夜ごはんは、フランス料理のレストランに行きました。わたしは、

パスタを食べました。とてもおいしかったです。

ホテルやレストランに行つたら、

「ボンジュール」とフランス語でまず話しかけられま

す。わたしはフランス語で、

「こんにちは」「あなたの名前は？」「わたしは日本人です。」

「これはなにでできていますか？」「北」「東」「西」「南」とい

うフランス語を学びました。道路

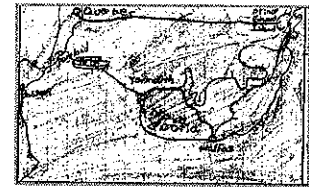
やお店の人が教えてくれたり、辞

書で調べました。

フランス語は難しいと思ひました。明日はもっとフ

ランス語を学びたいです。わたしが大人になったら「フ

ランスにいこうかな。」とまよつています。



今日、神戸のすまの水族館に行きました。インフル

エンザのせいでただになりました。

さいしよ本館の大きな水そうを見に行きました。そ

の水そうの中にはエイ、サメ、とたくさん小さな魚

のむれが泳いでいました。その後、ちよつとだけ右の

はさみのほうが大きいかに見て急いで「いるかシヨ

」をやる所に行きました。

すまの水族館では大人のいるかが三びきいて子ども

のいるかが一びきいます。ぼくと

ママは三列目にすわつたから、い

るかがジャンプとかする時、水が

かからないようにビニールのマ

ットをくれました。シヨが始ま

つて分かつたのは子どもがいる

かはジャンプができませんのです。

最後に一びきのいるかがすごい

ジャンプした後、思つたのは、どうやっているかはと

べるのかでした。



その後にアマゾンのお魚を見ました。大きい魚ばかりでした。アマゾン館の下にはラッコが食べているのを見ました。一人で食べている一びきのラッコがいて悲しそつと思ひました。

帰る前にテッポウウオ、電氣うなぎ、とピラニアが食べるのを見て、ひとで、ウニ、となまこをさわりました。

すまの水族館は楽しいと思ひました。

初等部四年二組 プロクター 利菜

きのう、カナダのコロンビアアンアイスフィールドに行きました。そこは氷河です。真っ白い氷の地面に冷たい水が流れています。

それで、コンテストをしました。だれがその冷たい水の中に手をずつといれられるかきようそうしました。先に弟のマックスが手を入れました。

「一、二、三、……九。」で手をぬきました。次はお父さんです。

「一、二、三、……十二。」でおわりました。二人とも、手が冷たくてしょうがなかつた。あと一人。お母さんです。（わたしは冷たいのは好きじゃないからやらなかつた。）お母さんはつめのてっぺんだけいれて、すぐ手を水からぬきました。そこで、お父さんのかち

でした。なぜそんなに冷たいのかと言うと、山にある雪がすぐにとけた水です。その水を飲むと長生きをすると言ひます。しかも、すごくおいしいです。

氷の山を登るととくべつなトラックがあります。そのトラックのタイヤは、すごく大きいです。わたしが入れる大きさです。

そのトラックを乗る時はうんてんをしている人がいる。その氷河のことを教えてくれました。わたしがすごいと思つたことは、氷はエッフェルタワーの高さと同じぐらいだということです。

そこは何千年前からある所でしたから、わたしは、

心の中で、

「ジーン」ときました。

またその水を飲んでみたいです。

初等部四年一組 一矢 悠介

七月十六日に、今年のかだい図書の「オランウータンのジブシー」を読んだので、オランウータンたちが、スカイウオークをわたるのを見るために、多ま動物園へ行きました。

園内に入ったら、シャトルバスにのりました。のりながら、日本カモシカ、サイなどを見ました。終点で下りて、帰りながら、ぜつめつきく種の雪ひょうを見ました。

多ま動物園は、コウノトリのはんしよくき地になっているそうです。

十一時半に、オランウータンが、スカイウオークをわたり始めるので、し畜係の人がおりから出しました。両手両足を使って、上手にロープをわたっていききました。高くて、落ちたらどうしようと、心配しました。

他には、コアラがいて、ユーカリの葉をムシヤムシヤたべたり、お母さんにだっこされていて、ぬむつている赤ちゃんもいました。つめは、意外にも、とがっついて、するどかったです。

昼ごはんを、園内のレストランで食べてから、ライオンバスに乗りました。一九六四年にできた、世界初のサファリ式ライオン園だそうです。近くでライオンを見ると、大きくて、はく力あるなと思いました。めずらしい動物が、たくさんいました。

初等部四年三組 夏休み 五・七・五 日記

安倍野映・・・あめのあと くらいいじめんに あおがえる
せんぷうき ぶんぶんまわる すずしいな

樋口朝香・・・つかまえる キラキラひかる にわホタル
さくらんぼ ふたごやみつこ おいしそう

川端真依・・・なつがきた ふうりんひらら とんでいる
たいようは ビカビカの目で 見ているよ

川合紗貴・・・すいかわり あつちやこつち どこにいく
プールには とまたちみんな きているよ

熊迫祐弥・・・じいさんち あめでもはなび できたのだ
つゆのひも いとことあそび たのしいな

仲井達弥・・・ぼくのゆめ 野球せんしゅに なることだ
すぐえよう とけいが九じを さしたなら

奥沢真央・・・えいがかん 大きながめんが こわいぞう
いもつとは いつもとなりで おうえんだ

シャレエマ・・・あちこちに ホタルのひかり みえるよね
ふうりんが チリンチリンと すずしそう

セルビーザック・・・
しおつけて きゅうりがぶつと まるかじり
ふうりんが りんりんりんり ないている

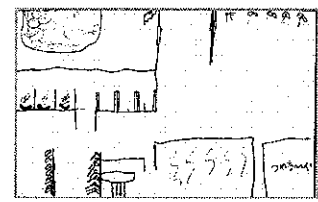
竹村美咲・・・リシンリンと おとをたてて ふうりんが
ひまわりが スマイルみせて わらつて

トラピンはなこ・・・
スケートの くつをはいたら エキサイト
ピカチューの テーブルクロス さがしてた

横野竜大・・・なつまつり よぞらに花火 たのしいな

はるやすみ はながいっぱい いいかおり

初等部五年一組 山崎 リオ

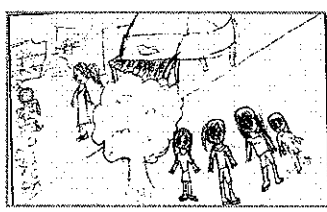


昨日は、ジーニイ、お父さん、ぼくの友達こうすけの家族三人と美人湯と言う温泉に行きました。ここに電気風呂・水風呂・湯舟・露天風呂・お風呂・ジェットがはいっているお風呂の六つのちがうしゅるいがあります。ジェットがはいっているお風呂がきもちよくて一番好きです。二つのしゅるいがありました。ジェットがすごく大きいのでなにかにつかまらないうと流れてしまうようになっている。足を電気風呂にいれてプリット

しました。水風呂に足をつっこんだら、すぐくつめたくて、すぐにだしました。温泉は楽しかったのもう一回行きたいと思いました。

初等部五年一組 大西 敦満

今日は、友だちのあさがあそびにきました。あさは日本にかえるので、さいごのプレイデートでした。あさはじゅりと同年です。あさはわたしたちに手づくりのチョコとキャンディーをくれました。そのあと、メインストリートスクールのパークに行きました。そこでバッドミントンをしました。あつかったのか、かえりました。そしてちよつとテレビを見ました。もにかがえつてきたあと、こんどはマディソンパークに行きました。まちの公園です。この公園はハドソン川のよこにあります。楽しかったです。そして、ディナーはありさのアパートで、チャイニーズを食べました。母と



ありさの母がしゃべっていた時、わたしたちはあそびました。カードゲームやトレジャーハントをしました。家の中はここがいっぱいありました。ありさとありさの母はわたしたちを見送ってくれました。また、できればあいたいと思います。

「百点を十回とれば」を読んで

初等部五年二組 榎木 大起

ぼくは、てつろうが先生にさい点ミスを教えたのは、とてもすごい事だと思います。なぜかと言うと教えないければ、ずっとほしかったサッカーシューズが手に入って教えたらずっとほしかったサッカーシューズをあと一步の所でがしてしまうのは、もったいなさずぎると思うからです。先生にその事を言うのはとても勇気のいる事だと思います。きつとぼくだとごほうびがある時は、もちろん、ごほうびのない時でも、だまっておくと思いました。でもすつきりしないのでごほうびをもらってから、お母さんにこっそり教えると思います。でもそれはずるいと思います。けれど得だとも思います。だからぼくはよく考えました。

そうして、てつろうは結局ほめられて、心もすっきりしてごほうびも、もらったので、最高の結果を得た事に気が付きました。結局、正直者は、ちゃんと得する事が分かりました。だからぼくもてつろうみたいに勇氣を出して、そんな事をするかもしれないけど、なんでも正直に言おうと思います。これは心があたたくなる話だと思いました。だからぼくはこのお話が大好きです。

「あそびにいてるよー」

初等部五年二組 加藤 千晶

今、車で私たちは、今日とまるホテルへ向かっています。私は、昨日見たマウンテンゴートのことを考えていました。山から赤ちゃんとおりてきたマウンテン

ゴート、かわいかったな。もつと動物見えないかな？

と思つていたら、お母さんが、とつぜん「あー右に車止めて！」と大声を出しました。

「ねえ、お母さん。なにを見つけたの？」

「くまだよ。真つ黒のくま！」

えー！うそ！私たちは、いろいろな動物を見ましたが、く、くまは見えたことがありません。お母さんが言うには、くまは、山を走りおりて行き、近くの木のかげにいて見えないようです。十分ぐらくまが木のかげから出てくるのをまつていたとき、車が二、三台ぐらいとまりました。お父さんが、

「くまねているんじゃない？もう行こうか。」と言つた時、

「あーうーいっている！」

とお母さん。くまは、木のかげから左のほうの木のかげに行こうとしていました。くまはそのそと歩き、お父さんは、カシヤカシヤと写真、私と弟は、ぐいぐいとほうえんきょうのとりあいをしていました。黒くまを見たあと、茶色のくまも、すぐ近くでエルクも見えました。今日は、動物がたくさん見られました！

六年一組 夏休みの思い出

夏の夜 線香花火 はかなげだ

宿題で ストレスばかり たまりすぎ

アギスキー実奈

かきこおり とつてもおいしい 夏の夜

新学期 たくさん買った ぶんぼうぐ

ベノブ エリー

夏休み はやく終わるな ながくいて

原宿で たくさん買った たのしいな

後藤 恵莉香

七月四日 ビーチで遊び バーベキュー

夜は花火で ああきれいだな

平井 杏奈

キャンプでは スポーツ多く 汗流し

木工製作 必死で作る

井上 遼

しゅっぱつだ おとまりキャンプ はじめてだ
たのしみだけど しんぱいだなあ

栗山 由也

土曜日や キャンプでスキー 水上で
立ち上がったから みんなうれしい

桑名 浩行

海の中 うかんで空を 見上げてる
砂浜で 楽しむ子ども 何つくる

松野 亜理佐

ビッグオー 東京ドーム 楽しかった

かみのけが みじかくなった かるくなる

相澤 春洋

なつのかぜ かがやくこおり かきこおり
どろろろろ にほんのおぼけ どろろろろ

西村 郷

おじいちゃまと 鉄板焼きを 食べました
パフオーマンスなしでも 味はグー

佐々田 健人

えつまじで ぼくにくれたぞ そのボール
ぼくを見つけた イチローの視線

芝田 継

につしよくで あたりがくらく なりはじめ
とおくでとりが さわいでいるぞ

進藤 晶

楽しんだ キャンプの事を 思い出し
急にキャンプに 行きたくなった

塩月 優花

おおきいよ ピカピカスズキ 三五センチ
さあどうしよう さしみやフライ

白土 遥菜

海の中 イソギンチャクの 色がすき
タコがいた 色が変わって おもしろい

鈴木 真弥

初めての 鳥を飼ったよ うれしいな
オカメインコの ピーちゃんです

田中 愛乃

きれいだね よるのひまわり みずのうえ
なかまのかおが パツとかがやく

山元 夏季

六年二組 夏休み俳句集

すいか割り パカッとわれて おいしいな

神野 エマ

夏の川 勢い増して 流れろよ

木曜日 プールにいこうか 楽しみだ

山本 浩生

せみの声 まどから聞こえ 夏来る

峯田 あみ

友と行く 水の世界へ 水族館

藤原 愛

いつまでも どこまで続く 海の中

小澤 龍一郎

川遊び チューピングして 流されそう

砂原 瞳

おばあちゃん いつも元気で かわらない

グレイ 渉

なつかしい きれいなほのお 花火だよ

松井 賢哉

夏休み 最後の宿題 これだけだ

安部 優波

夏の夜 ホタルのように ひかりたい

落合 涼

夏休み かぞくといっしょ ハワイ旅行

手塚 みさと

ひまわりが きのうさいた きれいだな

立石 恵利也

夏の夜 かにさされるよ 足かゆい

高良 菜璃子

暑い日は 海に行こうよ 楽しみだ

ポターフ 直美

夏の夜 ほたるの光 ふしぎだな

水谷 順子

「夏休みの思い出」

中等部一年二組 進藤 りさ

今年の夏休みは数えきれないほどの、思い出を作ることができました。その中でも、一番印象に残っているのはウエルネスキャンプです。

ウエルネスキャンプは日本人の二週間のお泊まりキャンプです。今年で、ウエルネスキャンプに行き始めてから、三年もたちました。キャンプでは毎年、絶対に忘れられない思い出を作っています。けれども、今年の夏の思い出は一生の宝物になりました。

ウエルネスキャンプと言う言葉が耳に入ってきてまず頭に浮かび込むのが、毎朝、朝ご飯の前にあるつらいジョギングです。去年までは走る量が一マイルでした。けれども今年、中学生になった私は一・六マイルも走らないといけないことになりました。ジョギングは死ぬほどつらいとは分かっていたけれども、最初の日は思っていた以上に大変でした。ジョギングの今までの経験で覚えているのは、心の中で歌を歌っていたらそれ集中してつかれたことを少しは忘れられるということでした。今年もそれをやってみましたが、あまりのつらさで歌も歌えませんでした。けれども何日かたつたら自分の体がジョギングのつらさになれてきました。しかもタイムが一分も縮みました。また最後の日になると、最初の日よりも三分以上早くなりま

した。

今年のウエルネスキャンプはジョギング以外のこともふくめて、とても達成感を味わうことができました。キャンプのみんなと別れる時は、涙が目から飛び出しました。こんなに泣いたのは久しぶりでした。今まで私は一回もホームシックになつたこともないけど、今の私はキャンプシックです。

「海を越えて、山を越えて」

中等部二年一組 安倍 結花

今年の夏休みは二度と忘れられない数々の思い出を私にプレゼントしてくれた。東京デイスニーシーに行き、おばあちゃんとおじいちゃんと一緒に感動した事、新しい文ぼう具を買ってもらった事、父の方のおばあちゃんの所に行き、おばあちゃんがとても嬉しそうにしていた事、海に行つた事、数えきれないほどの思い出がまるで、アルバムをめくっているように浮かび上がってくる。

中でも一番心に残つたのはおばあちゃんとおじいちゃん七十才と六十才のパーティーで曲を私が二人にプレゼントしてあげた事だ。その曲は「オーバー・ザ・シー・オーバー・ザ・マウンテン」で日本語では、「海を越えて、山を越えて」という意味。一番は、おばあちゃんのために書き、一番は、おじいちゃんのために書いた。三番目は二人のため。この曲は離れていても空を見て、色々な事を教えてくれれば海を越えて、山を越えて、わたしの所に飛んでくるよ。という思いを込めて作つた。パーティーで歌つた後、みんなとても感動してくれて、おばあちゃんとおじいちゃんの嬉しそうな顔を見ていると心がほんわかと温かくなってきた。この瞬間は二度と忘れない。「サプライズ！」二人が部屋に入ってきて、クラッカーがなつた瞬間から、「作つた歌をひろうしていいパーティーにしてあげよう！」と思つていたから。

わたしは将来、シンガーソングライターになりたい。このパーティーでの事を思い出すとますますそう思う。これからわたしは前をむいて歩き始める。でも、たまには一歩下がつてこのアルバムを開く事があると思う。そして、すてきな思い出をもつとこのアルバムに加えて行きたい。

「シュノーケリング」

中等部二年二組 松井 絵里奈

私はこの夏初めて沖縄に行った。最初は石垣島に三泊して、そこで、二日目に私はシュノーケリングをした。それはまた初体験だったのでとても楽しみにしていた。

シュノーケリングツアーの場所についたら、姉と弟と母はシュノーケリングウエアだけではなくウェットスーツまで借りていたのでとても恥ずかしかった。他の人達はほとんどだれもそんなのは借りていなくてさらにすごく暑そうだったし、とてもカッコ悪いとも思つた。だから私と父は借りなかったのだ。

そして、ボートに乗つて十分ほどしたら、ボートのおじさんが色々注意事項やサンゴの種類を教えてくれた。一番大事なルールはサンゴをけつたり、サンゴの上に立つてはいけないということだった。でも、立っているいいサンゴは一つあった。すごく大きくて丸くて上が平たいサンゴだった。そのサンゴはそこらじゅうにあつてそれだけに立つていいと言われたのだ。

やつと海の中に入つていく時になった。ボートの中の人達が一人一人水の中に入つていく。私も入ることにした。さっきまで全然大丈夫だったのに急に緊張しはじめた。けれど他の人も待つていたので入ることにしたが、入つてすぐ死ぬと思つた。思つたより深く、また、魚もいて、サンゴもあつて、口呼吸になれていなかったのでも苦しかった。けれど少し泳ぐと慣れてきて、色々見えてきた。

最初に見たのはくねくねの星のような形のサンゴで、真っ白のと真っ青のがあつた。魚やサンゴを見ていたら気が付いた時、ボートがなくなつていた。よく見るとボートが三つあつてどれが私のグループのか分からなくなつてしまひ、また、パニックになりはじめた。すると、父が来て「あつちのだよ。」と教えてくれたので、ほつとした。ボートに戻ると二つめの場所に移動して、またその次の場所をかえて色々なサンゴを見た。三つ目の所には、「青サンゴ」と言う、見たのは青ではないが、中身が青いと言うサンゴがあつた。そのサンゴがものすごく大きくて、もう一つのサンゴのように上が平たくてサンゴから水面まで三十センチぐらいしかなかった。そのとき、もうすぐ干潮だったので、ボートが青サンゴの上にあつたらひっかかつてしまふ。だからボートはサンゴの反対側に行つていたので私は泳いで来てと言われた。私とそのサンゴの上を泳いでいるとき、また死ぬかと思つた。サンゴの上部が私にとつても近く、さらにその上の生き物も近くとても怖くなつたからだ。途中ですごくへんな貝の目が出ているのを見てしまつたり、ウニを見たりほんとうに怖かつた。そのあと、死ぬ気で十分ほど泳いだら、やつとボートにたどり着いた。その時もとても怖かつたが、でも同時にすごく楽しくもあつた。絶対またシュノーケリングをやりたいと思う。

「ミュージックキャンプ」

中等部二年二組 古賀 早合亜

私は七月二十九日からミュージックキャンプに通っています。このキャンプは日帰り（デイ キャンプ）なのですが、朝の九時から十二時半まで、六つの種類の音楽の授業をとることができます。普通みんな、YMC Aなどのキャンプに行つてっていると聞いていた私は自分自身でも、「なんで音楽？」とずっと思つていました。また、このキャンプは一ヶ月と少しあるので、土

日を除いて毎日通うなんて考えただけでも最初は辛い
と思つてしまいました。しかし、キャンプは思つてい
たよりずっと楽しいものでした。

一応、私の今回のキャンプの目的は「音楽的なもの
を上達させる」事と「英語力を上げる」事でした。私
が普段通う現地校では日本人が多いので日本人でかた
まってしまうのですが、このキャンプは日本人はもち
ろん知らない人だらけだったので、アメリカ人の友達
も何人かできました。

私の授業は、レクリエーションの時間を除いて五つ
です。一時間目がパーカッション、二時間目はバンド、
三時間目はコーラス、四時間目はフルート、五時間目
にレクがあり、最後にジャズという組み合わせです。

ここで私はパーカッションに初めてチャレンジしま
した。パーカッションは見た感じは簡単に見えるのに、
実はとても難しい事を知りました。音階がない分、楽
なのですが、リズムがなかなか上手くとれなくて、苦
勞しています。また、教科書では右と左が指定されて
いるのでよく読まなければいけないのも大変です。

一番苦勞している科目といえばコーラスです。もち
ろん歌は全て英語。読むのもたどたどしく、発音もよ
く分からない私は、とまどうばかりでした。私達のク
ラスは「コーラスライン」の「ワン」という歌を練習
しています。この歌は昔、聞いた事があつた曲なので
慣れてはいたのですが、半口バク状態でした。私のク
ラスには小学一年生ぐらいの子もいるのですが、その
子達も楽しそうに歌っているのを見てあたり前ですが、
驚きました。今は、意味というか、音で覚えている感
じですが、明日が発表会なので少々あせっています。

「京都」

中等部三年一組 五味 愛蘭

この夏私はお父さん、お母さんとおばあさんと一緒に
京都に行きました。毎日三十三度以上こえ、日射しが強

く、とっても暑かったです。でも、いろいろととても立
派な建物を見ました。

最初の日に金閣寺を見に行きました。見る前にはなん
で金で作ったのかとか、いろいろなんかばかりしいと思
える程の考えが頭の中にうかんでいました。けれど建物
を見た瞬間に、そんな考えは頭からすぐ消えてしまいま
した。とっても美しかったからです。

その後、竜安寺に行きました。竜安寺は、私が一番見
たかった所でした。でも、金閣寺の後に見たらとても
がっかりしてしまいました。なぜなら、いつまでも頭
のこりそうな物がなかったからです。

がっかりした後には今度は仁和寺を見に行きました。私
は中学一年生の時に五重の塔のことを読んでから、とつ
てもそのお寺を見たいなと思つていました。見たらこれ
はほんとうにすごいなと思えました。とってもきれいだ
し、うんと高く、とても立派でした。けれど、建物全
体の写真をとるのは難しかったです。

その後お父さんが渡月橋をみたかったので、そこへ
行きました。けれど途中、暑かったので、とまって、か
き氷を食べに行きました。つめたくてすっきりしました。
その後、ホテルに戻りました。

次の日には、銀閣寺に朝早く行きました。なんでお金
がなくなつた後につぶさなかつたのがよくわかりま
せんでした。けれど庭がとても美しかったです。

庭を歩き回つた後、さらに清水寺に行きました。清水
寺につくまへには、だいぶ歩きました。けれども、お店
があちこちにあり、いろいろおもしろい物をたくさん見
付けました。清水寺はとっても混んでいました。千年前
からの木や鐘が残っていました。こんな古い物があるな
んてすごいなと思えました。下のほうにいつて、上の方
を見た時、どうやってこんな立派な建物を作つたのかな
と思いました。帰りに、お店に入り、「愛」と書いてあ
るシャツを買いました。

次の日は最後の日でした。その日に二条城に行きまし

た。二条城は私が一番すきな場所でした。庭と建物が両
方とも、とってもきれいでした。私はそこでたくさん
写真をとりました。たくさん歩き回ると暑くなり、そし
たら、城の中にまた入りました。とても立派な所でし
た。

京都はとっても暑かつたけれど、楽しかったです。と
ってもおもしろかつたいろいろなものを食べられて
楽しかったです。いつかまた京都にいきたいけれど、も
しかしたら、春にまた行きたいです。

「ストレスの山を破壊して」

中等部三年一組 ストムスキー 将

夏が終わりに近づき、僕は初めていつも人に支えら
れていたことに気付きました。今年の夏の出来事を振
り返るだけでそう思います。人の優しさや暖かさとい
うのは僕にも伝わり、僕はすこしだけ大人になった気
分です。

七月の半ば、そのころの僕と今の自分は全くの別人
だと思えます。その時、僕は、一週間のサッカーキャ
ンプを始め、あまり他人を気にせず、自分なりに楽し
んでいました。そして、大好きなサッカーをくたくた
になるまでやれば、汗とともに悩みなども消えるとも
思っていました。しかし、実際ボールを蹴ると、うま
くないかなことばかりでした。自分のプレーに欠点を
見つけたにもかかわらず、他の参加者は全員年下で、
僕はその人達の面倒を見ているふいんきでした。だか
ら自分の欠点を克服できずにイライラがどんどんつも
りました。そのストレスの火山がとうとう噴火寸前
になったその日、僕はアナと言うコーチに出会いました。
アナは密かに僕のプレーや、僕が年下の子供達の世
話をしていたことを見ていました。もちろん、僕のイ
ライラもお見とおしです。その時彼女は僕に声をかけ
てくれました。「ちっちゃい子をかまうのはコーチの
仕事。君はこの子達を相手に自分の苦手としているこ

とを乗り越えるんだ。」と。アナは楽しいはずのキャンプで一人で苦しんでいた僕を助けてくれました。アナのおかげで僕は欠点と言う壁をぶっこわし、また、ストレスも解消し、サッカーをおもいつき楽しめました。そして何よりも、アナの様な優しい気持ちをもつこと、また、人を支えることの大切さを学びました。

もう一つ、僕が大人に近づいたための大きな一歩を踏み出した場所があります。それは東京フロストバレーのキャンプでした。ここでは二週間、家や普段の生活から離れて暮らします。夏にこのキャンプへ参加するのは最初でしたが、冬のキャンプに参加したことがあったのでフロストバレーの世界にすぐ溶け込みました。

グループで活動しながらさまざまな課題に挑戦するキャンプでは、他人を思いやることなど、チームワークがとても大切です。しかしキャンプの中盤に、僕はだるくて歩けないほどの風邪をひいてしまいました。その時、自分のことで精一杯で、他の人のことを思いやれず、僕はせっかくの良いチームワークを乱すことを恐れていました。やがてこのイライラもつもり、またストレスの山が復活しました。しかし僕にはグループの支えがありました。空気が抜けた風船みたいに、僕の心からもやもやが吸い取られました。グループの仲間は僕を気遣ってくれて、風邪が治った時に、グループのメンバー全員でキャンプの残りを過ごすことを期待してくれました。僕もみんなの様に、どんな時でも人に優しくするようにがんばれる人になりたいです。キャンプに参加することは、大人になるための大事なステップでした。そこで僕はまた人に支えられて、また成長した気分です。

こうして今の僕がいます。まだ完全な大人ではありませんが、確実に大人に近づいたと思います。そして今まであまり気付かなかった「支え」ということを思い出した気がします。これからその支えとなってくれた人々に感謝し、少しでも恩返しができるとまた大人

「二〇〇九年夏休み！」

高等部一年 松井 友里

毎年私は夏休みを楽しみに過ごしている。一年で一番たくさん思い出を作れるとき。それが私にとつての夏休みなのだ。

今年は二年に一度の日本への旅行が決まっていたので特にワクワクしていた。結局、日本にいた三週間は思った以上に楽しい日々だった。

まずは親戚が住んでいる前橋に遊びに行った。久しぶりに祖母や従姉妹に会え、嬉しかったが少し緊張してしまつた。

前橋から帰ってきて、休み間もなく次の日には沖縄に向かった。

沖縄では石垣島に三泊し、最後の夜は本島で過ごした。シュノーケリングが特に楽しかった。沢山の魚が私の横を通り抜けていくのを見て、感動した。中には手をつついてくる魚もいた。

東京に帰ってから色々忙しかった。毎日何かしらする事があって、休み日は一日もなかった。渋谷、原宿、秋葉原にも行った。前、補習校に通っていた友達にも会えた。

祖父の法事で名古屋にも行った。初めての法事で私も妹もどうすればいいのかわからなかった。けれど、従姉妹も皆同じようにとまどっている様子だったので少しほっとした。

友達の家族と一緒に箱根にも泊まった。しかし、あまりの忙しさに体調をくずしてしまった私は、皆が温泉に入っていた間、一人で休まなければいけなかった。日本から帰ってきてからは友達と遊んでいたけど、日本に行ったおかげで今年の夏は思い出深いものになった。

「夏休み」

高等部一年 トラビン なみこ

いつも夏休みのように、今年も日本に行き、横浜の祖父と祖母の住む家で、一ヶ月半すごしました。私は祖父と祖母のことが大好きです。私はしょっちゅう、祖母におこられたり、口喧嘩などするけど、必ず後には仲直りして、また楽しく一日を過ごします。

日本にいる間、私は横浜の小学校で、生徒に英語を教えました。自分で授業の内容をねったり、プリントなど作ったり、いろいろな先生の役目をしました。日本の小学生はとてかわいくて、大好きです。みんな楽しそうに私の授業をうけてくれたのでとてもうれしかったです。休み時間はみんなと遊んだり、給食を食べたりして、いい思い出がたくさんできました。

学校で英語を教えていた二週間はすぐにたち、後の日々は、友達と遊んだり、買い物をしたりして、暑い日本の夏を楽しみました。

また来年の夏休みも日本に行つてたくさんの思い出を作りたいです。